



こだなか

発行/小田中町会 広報委員会 2024年1月1日 第47号



人気のガーデニング教室
魅力を紹介!
婦人部部長 斉藤恭美

コロナ禍から4年ぶりに再開した「寄せ植え(ガーデニング)教室」。11月16日・18日の2日間、計4回で総勢46名の参加がありました。開催してよかったと思えます。以前と同じく中原園芸のご指導の下、楽しく語り合いながら各自のアイデアで作った寄せ植えに、参加者の満面の笑顔が見れました。

今回はギャザリングを学びました。シルバースノーの根っこを2つに割り、その間にエリカを入れて植えこむという手法です。葉ボタンも2つに分け、全部で6種類の草花が、さらに華やかに仕上がりました。今後、自分で寄せ植えをするときの参考になることでしょうか。

玄関前に置かれた美しい鉢とともに、新しい年を迎えることができました。



予約状況は町会ホームページで確認できます!

町会会議室の予約について

【利用方法】

会館で受付を行い、申込書への記入と料金をお支払いを行って頂く必要があります。受付時間は原則、第1・第3火曜日の午前9時~12時までです。※変更する場合はホームページでお知らせします。

	9:30~13:00	13:00~17:00	17:00~21:00	9:00~21:00
小会議室 (15人~20人収容)	1,000円	1,000円	1,500円	3,000円
大会議室 (30人~50人収容)	1,500円	1,500円	3,500円	4,500円

①まずはホームページにアクセス

<https://www.kodanaka.com>



②「会議室の予約について」を選択。

③ページ内に予約状況表があります



今後の主な行事予定

2月 グランドゴルフ



3月 美化活動



4月 町会総会



・それぞれ開催日・時間は回覧チラシ・HP等でご案内します。
・なお、グランドゴルフは会場確保が困難な場合は中止になることがあります。
・すみれ会は毎月第2木曜日13時30分に町会会館で実施。
・ガーデニングクラブは毎月1日に活動。

●会長挨拶の通り、昨年は久しぶりに盆踊りや関神社例大祭を開催することができました。やぐらや神輿等の準備では「あれっ、これどうするんだっけ?」という声も。やはり4年ぶりの開催は準備も大変です。
●花本さんのご自宅を訪問し取材しました。印象に残っているのは花本さんの朗らかな話しぶりとお様との仲が良いこと。常に目の前のことに全力で取り組む花本さんの姿勢が生活を豊かにしています。
●防災・減災グッズは多種多様。きちんと用途を理解することが大事です。例えば防災頭巾。火の粉から頭を守る戦前の防空頭巾を模倣して作られたようですが、落下物から頭を守るには頼りになりません。頭巾とヘルメットを区分けしましょう!
●写真で活動を振り返るマイタウンハイライト。久しぶりに1ページを写真で埋めることができました。今年も多くの活動が開催され、会員同士の交流が進むことを期待します。

〔編集後記〕

町会長挨拶



おま すみれ 原 増男

あけましておめでとうございませう。令和六年の幕開けです。昨年は、4年にわたるコロナ禍も、5類感染症への移行により多くの行事を再開することができました。顔の見える関係を築くことができたと思います。とりわけ昨年は最高気温が30度以上の真夏日が過去最多となる非常に暑い年でした。このような中、7月29日・30日に五町会合同おがやと納涼盆踊り大会を実施し、各町会子ども会による模擬店も出されました。9月16日・17日には関神社例大祭が開催され、宵宮の演芸大会、本宮の神社神輿の渡御、町会子ども神輿と山車巡行があり活気を感じました。美化運動は毎回多くの方が参加され、我が町をきれいにするだけでなく情報交換の場にもな

コロナ明け多くの活動を再開

っています。ガーデニングクラブによる花壇の管理はタウンニュースに掲載され注目されています。グラウンドゴルフも予定どおり開催しました。子ども会の餅つき大会は久々に開催することができました。12月27日、29日には年末パトロールを役員と有志の皆さんで実施しました。このように様々な活動を再開し、多くの方に協力頂きました。大変ありがとうございました。また、婦人部やすみれ会にも多大な協力を頂きました。そして、今年には町会創立70年の節目の年です。各種行事を通じて親睦と融和をはかり、安全、安心、美化の行き届いた町づくりをさらに進める所存です。なお、今年はどういう学校が改築工事で行うことができませぬ。訓練を行うことができません。各自で災害への備えを進めて頂きますようお願いいたします(2面参照)。最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いたします。



わが町の誉れ

すみれ会会長 花本金吾



島根県浜田町(現・浜田市)生まれ。現在87歳。スポーツ好きで学生時代は柔道で体を鍛え、今も元氣はつらつ。すみれ会の定例会に加え、町会や区老連の会議など積極的に参加する。

意外にも町会との関わりは3年前のすみれ会加入が初めて。「今年から会長になりましたが、町会やすみれ会のこれまでの活動は今も分らないことばかり」と試行錯誤の活動を吐露。以前の活動舞台はもっぱら大学。アメリカ文学の研究者として主に早稲田大学で教鞭を取ってきた。教授、名誉教授を経て、平成27年秋の叙勲で「瑞宝中綬章」に輝く。『フォークナー研究 第1巻』(学書房 1970)や『英熟語タ

元氣はつらつ 常に挑戦

大学院時代に上小田中へ転居して、かれこれ63年。故郷の島根を想う気持ちは強く、神社へ浄財を送り続けている。また、小中学校の同窓会へは必ず顔を出すが、だんだん同窓生が少なくなつたと寂しく語る。すみれ会の現状について、「平均年齢は80代。60歳から加入できますので、もっと若い人にも加入してほしいですね」と呼びかける。



※すみれ会：小田中町会の老人会

マイタウン ハイライト

昨年は新型コロナウイルスの5類移行により多くの活動を再開することができました。

おおがやと納涼盆踊り大会
(7月29日～30日)



関神社例大祭
(9月16日～17日)



グランドゴルフ大会
(9月24日)



美化活動
(6月4日・11月12日)



ガーデニング教室
(11月16日・18日)



餅つき大会
(12月3日)



災害時に命を守る一人ひとりの防災対策

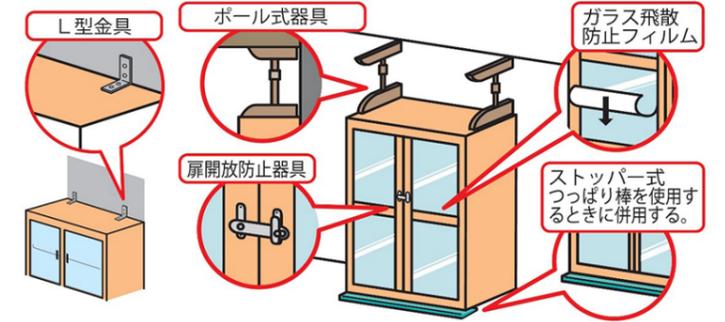


災害による被害をできるだけ少なくするためには、「公助」や「共助」も重要ですが、一人ひとりが自ら取り組む「自助」も欠かすことができません。
今回は災害時の被害をできるだけ少なくするために各自で取り組み可能な対策を紹介します。

備える ～個人でできる取り組み例～

<室内対策>

近年発生した地震でけがをした原因を調べると、約30～50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものというデータがあります(東京消防庁HP)。家具をL字型金具などで壁に直接ネジ固定するのが最も効果が高いですが、部屋の状況に応じて対策を講じることが何よりも大切です。



<初期消火>

関東大震災や阪神淡路大震災では大きな火災が発生しました。そこで初期消火が重要になりますが、高齢者や小さな子どもには消火器は扱いづらいのも事実。最近は投げるタイプの消火器具も登場しています。

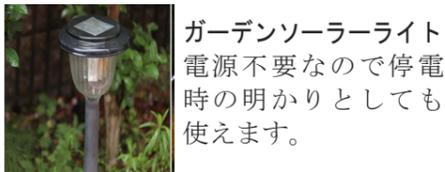


<水・食料>

関東大震災では水や食料をめぐる騒動が生じたと言われています。そこで日ごろから10日以上分の食材を備蓄し、使っては買い足す家庭内での循環備蓄を心がけるようにしましょう。



<被災生活便利グッズ>



ガーデンソーラーライト
電源不要なので停電時の明かりとしても使えます。



ポータブル電源
スマホの充電だけでなく、出力が大きければ電気製品も使用できます。

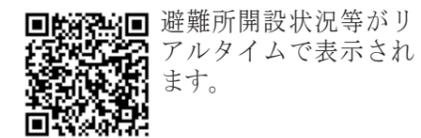


その他にも・・・
災害用トイレ
液体歯磨き

知る ～防災・減災に役立つWEBサイトの紹介～

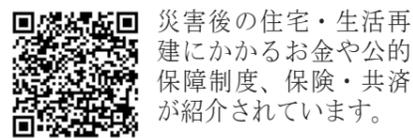
<災害時の避難情報・避難所開設情報等>

川崎市災害ポータルサイト



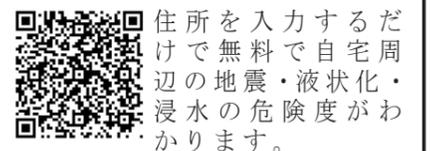
避難所開設状況等がリアルタイムで表示されます。

生活再建にかかるお金の情報



災害後の住宅・生活再建にかかるお金や公的保障制度、保険・共済が紹介されています。

自宅周辺の地盤を知る



住所を入力するだけで無料で自宅周辺の地震・液状化・浸水の危険度がわかります。